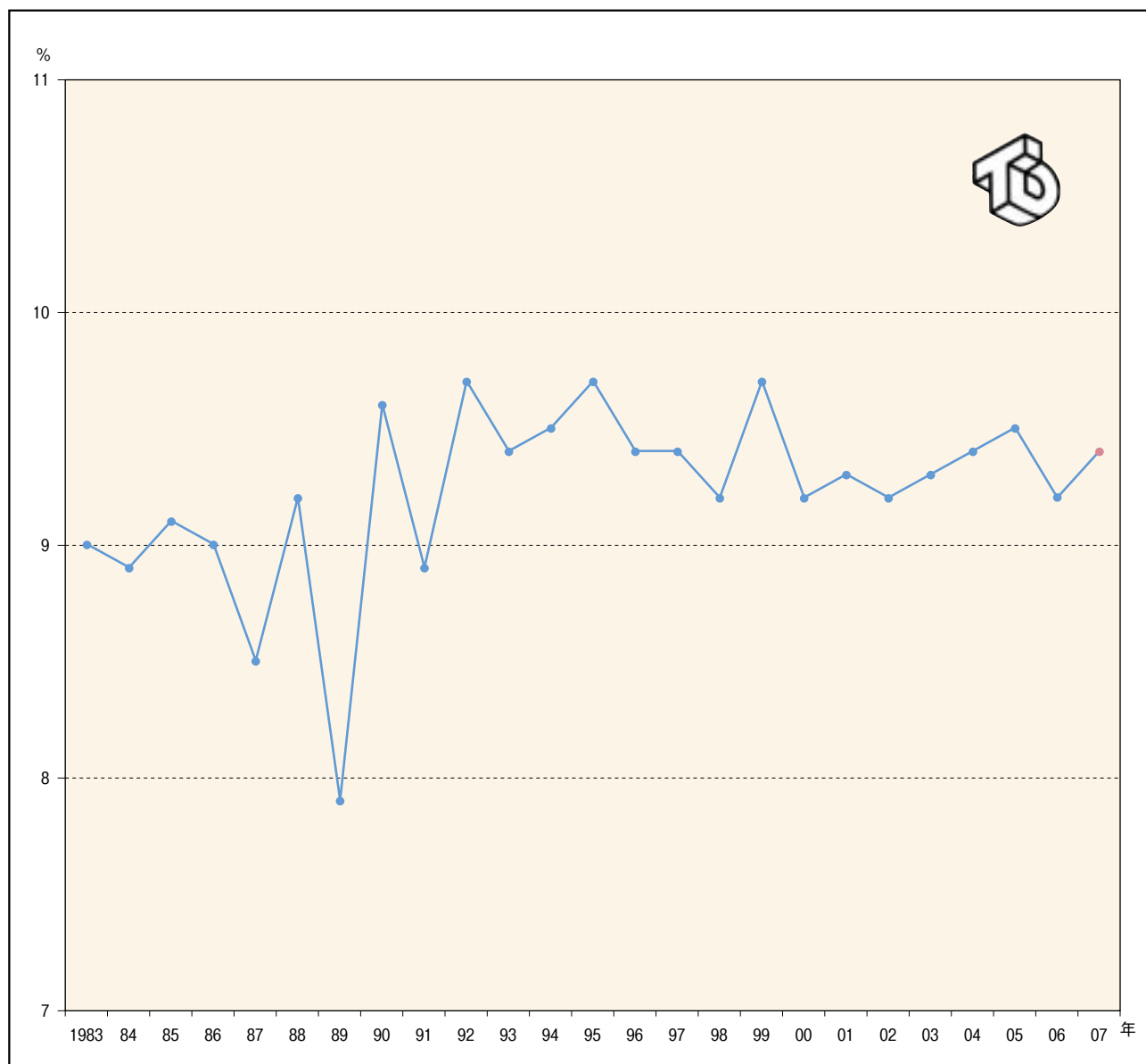


6) 年間粗死亡率と生存率

(1) 年別粗死亡率の推移 (図表20)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
粗死亡率	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5

年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
粗死亡率	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2	9.4

施設調査による集計

解説

1983年以降の粗死亡率

導入患者の高齢化、糖尿病性腎症患者の急増、腎硬化症の増加など予後不良な患者の導入が多くなっていることから粗死亡率の悪化が毎年懸念されるが、1992年に9%を超えて以降、9.2～9.7%の範囲内で安定して推移してきた。2007年の結果は9.4%であり、前年より0.2%増加したが、長期的な目で観察すると安定しており、十分な透析管理が実施されているものと判断される。